

第4期

令和7-令和11年度

千葉県 教育振興 基本計画



人口の 地域間格差と 少子高齢化

急速な 社会変化への 対応

千葉県教育の

6つの課題と 取り組むべき 視点

多様な ニーズに 対応した教育

質の高い 教育を行う 学校体制の充実

経済·

雇用情勢への 対応

学校・家庭・ 地域の連携・ 協働

千葉の未来のために 「教育」ができることは 何だろう。 千葉県では、第3期教育振興基本計画(令和2年度~令和

6年度) に基づき、4つの基本目標の達成に向け、11の施策 を推進してきました。

この間、新型コロナウイルスの感染拡大や自然災害の激甚 化、国際情勢の不安定化など、社会の大きな変化が教育現場 に影響を及ぼしました。また、いじめや不登校、教員不足など、 学校現場の厳しい状況が大きな課題となっています。

こうした背景を踏まえ、千葉県では令和7年度を初年度と する「第4期千葉県教育振興基本計画」を策定しました。 多様性が尊重され、誰もが生き生きと社会で活躍できるウェル ビーイングの実現、ICTを活用したより良い教育環境の整備、 そして産業分野をはじめとする多様な場で活躍できる人材の 育成を「オール千葉県」でめざす、新たな一歩となる計画です。



明















# 人生をしなやかに切り拓き、 千葉の未来を創る

## 一人一人が可能性を最大限に伸ばし、 自分らしく活躍するために

日本の成長を支えてきました。一方で、少子高齢化や人口減少により地域の活力低下が 課題となっています。

持続可能な未来を築くためには、地域資源と新しい技術を結び付け、世界とのつな がりを生かして県の可能性を高めることが重要です。

このため、教育では、子供たちが自ら課題を見つけ、他者と協働して解決する力を 培うとともに、変化や多様性を受け入れる柔軟性と寛容さ、思いやりの心を養うことが 求められます。

また、教員がゆとりと自信を持って子供と向き合えるよう、学校のDXや業務改善を 進め、全ての子供たちに最良の教育と最善の未来を約束できる、誰一人取り残されない 質の高い学びの場づくりを目指します。









できる社会を構築します。





# 教育DXの推進

デジタル技術を活用し、子供たちの ff報化推進計画 学びの質の向上と教職員の業務負担 の軽減に取り組みます。





# 産業と教育の連携

教育が地域産業や社会と帰る 社会に求められる産業人材を育成 します。





# 子供たちの自信を育む教育の土台づくり

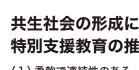


## 優れた教員の確保と 教育の質の向上

- 人間性豊かな教員の採用

## 魅力ある学校づくり

- 魅力ある学校づくり



(2)早期からの教育相談と

# 多様なニーズに対応した



(1)郷土と国の歴史や伝統文化等の学びの推進



## 豊かな心の育成

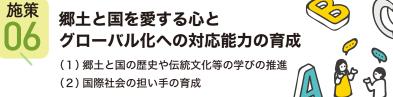
(1)豊かな情操や道徳心を育む教育の推進

人生を主体的に切り拓くための

- (2)児童生徒の自殺対策の推進
- (3)体験活動等の推進
- (4)子供の権利擁護

## 生涯をたくましく生きるための 健康・体力づくりの推進

- (1) 生涯にわたって運動・スポーツに親しむ資質・能力の育成
- (2) 学校保健の充実



## 人格形成の基礎を培う 幼児教育の充実

- (1) 幼児教育の質の向上
- (2) 小学校教育との接続の円滑化



## 学びを将来へとつなぐ 体系的・実践的なキャリア教育の推議

- (1) 学校におけるキャリア教育の推進
- (2) 社会に求められる産業人材の育成
- (3) 障害のある生徒の自立・社会参加の支援



# 全ての人が活躍できる環境づくり



# 家庭・地域との連携・協働の推進

- (1)家庭教育への支援

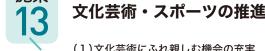


# 人生100年時代を見据えた

- (2) 学習に関する情報提供・相談の充実
- (3) 学習成果を社会に生かす仕組みづくり
- (4) 多様な主体との連携・協働の推進







(2)「知る」から広がる「する・みる・ ささえるスポーツ」の推進







## 計画の進捗管理

計画の推進に当たっては、有識者の意見も取り入れながら「Plan (計画)  $\rightarrow$  Do(実行)  $\rightarrow$  Check(評価)  $\rightarrow$  Action (改善)」という流れで見直しを行い、毎年度その結果を公表しています。

### [総括指評]

項 目(学校評	価における保護者及び児童生徒アンケート結果)	現状(令和5年度)
【基本目標 1】学校運営	「学校運営」に関する項目について、「満足」「概ね満足」と回答した 保護者の割合	88.1%
【基本目標 2】学校生活	「学校生活」に関する項目について、「満足」「概ね満足」と回答した 児童生徒の割合	89.1%
【基本目標 3】学校・家庭・地域の連携	「学校・家庭・地域が連携して子供を育てる環境が整っている」と 回答した保護者の割合	84.9%

### [施策実施指評]

LD也	L施束実施指評」						
施策	項目	現状 (基準年)	目標 (令和11年度)				
1	先生は、分かるまで教えてくれている と思う児童生徒の割合	児童 86.6% 生徒 83.1% (令和6年度) ※全国平均 児童 87.9% 生徒 84.9%	全国平均以上を目指します				
	月当りの時間外在校等時間が45時間 を超える教諭等の割合	37.2% (令和5年度)	減少を 目指します				
	ICTを活用した校務の効率化(事務の 軽減)の優良事例を十分に取り入れ ている学校の割合	小 26.1% 中 23.2% (令和6年度)	50%				
2	公立高等学校における不登校、中途 退学生徒の割合	不登校 3.52% 中途退学 1.12% (令和5年度)	低下を 目指します				
	いじめ認知件数に対する解消率	78.9% (令和5年度)	増加を 目指します				
3	「個別の教育支援計画」を学年間、他 校種への引継ぎで、活用した学校の 割合	75.1% (令和5年度)	96.0%				
	「個別の指導計画」を学年間、他校種 への引継ぎで、活用した学校の割合	75.8% (令和5年度)	96.0%				
4	困りごとや不安があるときに、先生や 学校にいる大人にいつでも相談できる と感じている児童生徒の割合	児童 64.1% 生徒 65.8% (令和6年度) ※全国平均 児童 67.1% 生徒 67.5%	全国平均以上を目指します				
	いじめ認知件数に対する解消率(再掲)	78.9% (令和5年度)	増加を 目指します				
5	授業で、課題の解決に向けて、自分で 考え、自分から取り組んだ児童生徒の 割合	児童 81.7% 生徒 80.3% (令和6年度) ※全国平均 児童 81.9% 生徒 80.3%	全国平均以上を目指します				
	全国学力・学習状況調査の結果を分析 し、学校全体で教育活動の改善に活用 した学校の割合	小 95.5% 中 92.7% (令和6年度)	100%				
6	地域や社会をよくするために何かして みたいと思う児童生徒の割合	児童 82.5% 生徒 75.8% (令和6年度) ※全国平均 児童 83.5% 生徒 76.1%	全国平均以上を目指します				
	留学(3か月以上)のために出国した 県立高等学校の生徒数	25人 (令和5年度)	75人				
	海外研修等(修学旅行を含む)のため に出国した県立高等学校の生徒数	180人 (令和5年度)	2,000人				
7	幼保小で接続を見通した教育課程の 編成・実施を行っている市町村数	15市町村 (令和5年度)	54市町村				

施策	項目	現状 (基準年)	目標 (令和11年度)
8	自分にはよいところがあると思う児童 生徒の割合	児童 83.7% 生徒 83.2% (令和6年度) ※全国平均 児童 84.1% 生徒 83.3%	全国平均以上を目指します
	児童生徒の人口10万人当たりの自殺 者数(公立小中高等学校)	3.57人 (令和5年度)	減少を 目指します
9	小学校における新体力テストの平均点	47.0点 (令和5年度)	50.0点
	朝食を欠食する児童生徒の割合	児童 6.5% 生徒 9.5% (令和6年度) ※全国平均 児童 6.3% 生徒 8.6%	全国平均以下を目指します
10	将来の夢や目標を持っている児童生徒 の割合	児童 83.3% 生徒 65.4% (令和6年度) ※全国平均 児童 82.4% 生徒 66.3%	全国平均以上を目指します
	特別支援学校卒業生における就労 定着率	92.6% (令和3年度)	増加を 目指します
11	コミュニティ・スクールを導入した 公立学校の割合	33.1% 政令市を除く (令和5年度) ※全国平均 52.3%	全国平均以上を目指します
	地域学校協働本部が整備された公立 学校の割合	70.1% 政令市を除く (令和5年度)	増加を 目指します
12	「学びの総合窓口」で受け付けた相談 件数	令和6年度 新規取組	増加を 目指します
	「リカレント講座」の受講者数	令和6年度 新規取組	増加を 目指します
13	この1年間に文化芸術を鑑賞した県民 の割合 ※目標値は第2次千葉県文化芸術推 進基本計画の目標90.0%(令和13 年度)をもとに設定します。	76.7% (令和5年度)	86.7%
	この1年間に鑑賞を除く文化芸術活動 をした県民の割合 ※目標値は第2次千葉県文化芸術推 進基本計画の目標50.0%(令和13 年度)をもとに設定します。	28.0% (令和5年度)	44.5%
	県立博物館・美術館の参加体験事業の 体験者数	121,319人 (令和5年度)	増加を 目指します
	成年の週1回以上のスポーツ実施率	53.7% (令和5年度)	増加を 目指します



### 編集·発行

千葉県 教育庁 企画管理部 教育政策課 政策室 〒260-8662 千葉市中央区市場町1-1 TEL. 0120-23-1008



